

英語科 学習指導案

枚方市立第三中学校
指導者 赤木 雅幸
NET : Peter Cheng

1. 日 時 平成25年11月8日(金) 6校時 / 14:40~15:30

2. 学年・組 第3学年4組 (男子18名、女子17名)

3. 単元名 Speaking Plus 4 「電話での応答」 New Horizon (東京書籍)

4. 単元目標

- ・間違いを恐れず積極的に英語で言語活動に取り組む。
- ・英語を正しく音読することができる。
- ・「want+人+to do」や「tell +人+to do」は既習事項であるが、電話でのやり取りの中で「あとでかけさせましょうか。」と相手に申し出るときや相手に伝言を頼むときに効果的に用いることができることを理解し、状況に合わせて表現することができる。
- ・教科書のモデル対話の内容を場面や状況とともに理解する。

5. 教材観

電話での会話には相手の表情やジェスチャーが見えないという特徴が挙げられ、受話器から聞こえる声の調子や間の取り方などを頼りに相手が伝えたいことや気持ちを推し量ったり、こちらの用件や気持ちを伝えたりするために言葉のみに頼らざるを得ない。そういった状況の中で、「あとでかけさせましょうか。」と相手に申し出たり、相手に伝言を頼んだりする行為はコミュニケーションを図る上で大切なものであり、人間関係を円滑にするものでもある。そのため、相手の気持ちを汲んだり、伝えて欲しいことを申し出たりすることができるように指導したい。また、電話での会話をもつ特徴を理解させた上で、言葉を丁寧に使用することも指導したい。

6. 生徒観

授業者が担任をしているクラスである。3年生ということもあり、進路を意識しながら学習に取り組んでいる生徒が増えてきている。しかし、頑張りたいと努力する姿勢は見られるものの、学習内容についていけず、学習意欲を失ってしまっている生徒もいる。そういった生徒を学習(学び)に参加させ、仲間とともに達成感や自己肯定感を高めるための取り組みをどのように工夫していけば良いかが課題と考えている。

7. 指導観

普段の授業から、場面や状況、人物の気持ちを考えながら、英語を聴く・話す・読む・書くことを重点的に指導している。また、仲間とともに学び合う・支えあうという観点からペアやグループ活動を取り入れ、授業を進めている。この単元でもペアやグループ活動を通してお互いの考えや意見に耳を傾け、伝え合う中でコミュニケーション能力を高めていける学習活動を展開していきたい。

8. 単元の評価規準 は本時の評価

[コ]	[表]	[理]	[言]
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
①ペア活動において相手の話に耳を傾け、積極的に聴こうとしている。	①既習事項も含めて、電話でのやり取りの表現を用いて、スキットを書くことができる。	/	①「あとでかけさせましょうか。」と相手に申し出るときや相手に伝言を頼む相手に提案するとき用いる文の構造を理解することができる。

9. 指導と評価の計画

時数	○ねらい ・ 学習内容	評価規準				評価方法
		コ	表	理	言	
第1時 (※本時)	Speaking Plus 4 ○「want+人+to do / tell +人+to do」の復習 ・「want+人+to do / tell +人+to do」の文構造を復習する。 ・これらの文が電話でのやりとりの中で効果的に用いることができることを知る。 ○教科書モデル文の理解とペアでの音読練習 ○skit 作成・練習・発表	①	①		①	・活動の観察 ・ワークシートのチェック

10. 使用教材

- ・ワークシート

11. 本時の学習

(1) 目標

- ・間違いを恐れず積極的に英語で言語活動に取り組む。
- ・英語を正しく音読することができる。
- ・相手に提案するときに用いる「want+人+to do」や、相手に伝言を頼むときに用いる「tell +人+to do」の文の構造について復習し、電話でのやり取りの中で効果的に用いることができることを理解し、表現することができる。
- ・教科書のモデル対話の内容を場面や状況とともに理解する。

(2) 展開

学習内容・時間・生徒の活動	教員の支援		指導上の留意点	評価規準方法等
	JET	NET		
1.Greeting (2min) ・教師の挨拶に答える。	・挨拶する。	・挨拶する。	・元気に挨拶させる。	活動観察
2.Introduction(15min) ①Introduction of model dialog ②対話文の内容確認 ・Model Dialog や Worksheet(Q&A)を通して場面状況を考え、理解する。	・NET と協力して Model Dialog や Worksheet(Q&A)を通して場面状況を考えさせ、理解させる。	・JET と協力して Model Dialog や Worksheet(Q&A)を通して場面状況を考えさせ、理解させる。	・Model Dialog や Q&Aを通して電話をかける側/受ける側、それぞれ英文の意味を理解させる。	活動観察 言① 活動観察
3.Reading(10min) ①Chorus reading ・教師の後に続いて音読する。 ②Buzz reading ・自分たちのペースで音読練習をする。 ③Part reading → Change the role ④Pair reading	・NET と協力して Model Dialog を教師の後について音読させる。 ・NET と協力して机間指導を行い、正しい発音やリズムで音読しているか確認する。	・JET と協力して Model Dialog を教師の後について音読させる。 ・JET と協力して机間指導を行い、正しい発音やリズムで音読しているか確認する。 ・Kevin/Becky's mother の双方の音読をさせる。	・正しい発音で読ませる。 ・アクセント、抑揚、リズムなどに注意して音読させる。 ・人物の感情などを考えながら音読させる。	活動観察

<p>/Read & Look up 形式</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアで音読練習をする。 <p>⑤Chorus reading</p> <ul style="list-style-type: none"> 教師の後に続いて音読する。 	<ul style="list-style-type: none"> 机間指導を行い、正しく発音して読んでいるかを確認する。 NET と協力して Model Dialog を教師の後について音読させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 机間指導を行い、正しく発音して読んでいるかを確認する。 JET と協力して Model Dialog を教師の後について音読させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 顔を上げ、お互いを見ながら、活動させる。 自信をもって読ませる。 	
<p>4.Make a skit & Reading practice (20min)</p> <p>① Introduction of an original skit</p> <p>②Tool Box</p> <ul style="list-style-type: none"> skit 作成に使える表現を確認する。 <p>③Explaining how to make a skit</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動の手順を確認する。 <p>④Making a skit</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアで協力して skit を作成する。 <p>⑤Practice reading</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアで協力して skit の音読練習をする。 <p>⑥Presentation</p> <ul style="list-style-type: none"> 指名されたペアは発表する 	<ul style="list-style-type: none"> NET と original skit を紹介する。 使える表現を説明する。 明確な指示を出し、skit 作成の手順を説明する。 机間指導を行い、skit 作成を支援する。 完成した skit の音読練習をさせる。 2～3組に発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> JET と original skit を紹介する。 明確な指示を出し、skit 作成の手順を説明する。 机間指導を行い、skit 作成を支援する。 完成した skit の音読練習をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> つまづいているペアを重点的に支援する。 ※時間が余れば行う。 	<p>コ① 表① 活動観察</p>
<p>5.Consolidation(2min)</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時の振り返りをする。 次回連絡を聴く。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の振り返りをさせ、講評をする。 次回の連絡をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の振り返りをさせ、講評をする。 次回の連絡をする。 		
<p>1.Greeting (1min)</p> <ul style="list-style-type: none"> 教師の挨拶に答える。 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶する。 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶する。 	<ul style="list-style-type: none"> 元気に挨拶させる。 	<p>活動観察</p>

(3) 板書計画

<p>《電話を受ける側》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○Do you want her to call you back ? [彼女から電話をかけさせましょうか。] ○Would you like to leave a message ? [何か伝えておきましょうか。] ○Can I take a message ? [伝言を受け取りましょうか。] 	<p>《電話をかける側》</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆Could you tell him/her to call me back ? [折り返しお電話をいただけるようお伝えいただけますか。] ☆Can I leave a message ? [伝言をお願いできますか。] ☆I'll call him/her back later. [またかけ直します。]
--	---